

「想いやってみんなのために行動できる学校」にしていきたい!

昨日より後期の学校生活が始まりました。

後期から、1年生の名札が学級の色別の名札から、上学年と同じプラスチックの名札に変わりました。名札が変わると、子供たちの表情がいつも以上に凛々しく感じられました。自分たちでも成長を感じているように、誇らしげに見せていました。他の学年の子供たちも、ほんの5日間の秋休みでしたが、ぐんと成長したように感じました。

始業式では、1, 3, 5年生の代表児童の発表がありました。前期の様子を振り返って自分が成長したこと、そして今後の目標について、堂々と発表する姿が見られました。前期終業式で発表した子供たちも含めて、「さすが、附属小学校の子供たち!」と嬉しくなる姿でした。上学年の姿を見て憧れの気持ちを持ち、その姿を引き継いでいること、また日々の学習の成果の表れだと感じています。

生徒指導担当から、「心は見えないけれど、思いやりは行動することで見えてくる」という話がありました。その話を聴きながら、今朝、子供たちの成長を感じたのは、子供たちの心の表れだったと思いました。後期の学校生活に向けて「よしっ」と気合いを入れた気持ちが姿に表れていたのでしょう。その気持ちは、始業式の話聴く態度にも表れていました。終業式では、少し話し声が聞こえたり、前で話をしている人がいても頭が動いたりして話を聴いていない様子が見られました。終業式の終了後に注意の話がありました。そして迎えた昨日の始業式。話を聴く態度がぐんとよくなりました。話をしている人に視線を向けることは、その人の話をしっかりと聴こうとする気持ちの表れです。

タイトルの「想いやってみんなのために行動できる学校」はゆめタイムの運営部の子供たちが、全校に呼びかけたスローガンです。「思いやりの心は行動に表れる」ということを一人一人が意識して、「よりよい学校にしていきたい」そんな気持ちになった後期の初日でした。保護者の皆様には、後期にも様々な場面でご支援、ご協力をお願いすることがあると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

学校の全体的な動きとしましては、後期はまず11月9日(土)に行います研究発表協議会に向けて全力で取り組んでいます。私たちの研究について、子供たちとともに行う授業をとおして、多くの方に知っていただきたいと考えています。当日は土曜日ですが、子供たちの登校についてご協力をお願いいたします。また、運営につきましてPTA執行部、評議員の方々にもお力添えをいただきます。よろしくお願いいたします。その準備と並行して、11月22日(金)の音楽会に向けての学習にも取り組み始めています。どうぞお楽しみに!

